

世界の文化を楽しもう

国際交流フェア



手作り料理で世界の食文化を紹介

市姉妹都市協会（葛西貢造会長）主催の国際交流フェアが10月28日、松の館で開催され、ハロウィーンの衣装で身を包んだ家族連れでにぎわいました。

この日は、県内から集まった国際交流員や外国語指導助手ら12人が、ゆかりある国の料理を手作りでふるまうなどして各国の文化を紹介。ジャックオーランタン（カボチャのおぼけ）を模した風船などを作るクラフトコーナーも人気を集め、来場者は楽しそうに異国の文化に触れていました。また、会場では市の姉妹都市交流活動をパネル展示で紹介。姉妹都市に関する3択クイズやフリスビーゲームなども行われ、子どもたちは楽しみながら姉妹都市への理解を深めていました。



クイズで姉妹都市への理解を深める



いろんな味のドリンクに挑戦



仮装を楽しむ子どもたち



的に当てお菓子をゲット



ハロウィンバルーンの製作



Trick or Treat!



イベントでは国際交流員らが活躍



大勢の家族連れでにぎわった会場

農・商・工が手をつないで「食と産業まつり」にぎわう



野菜宝船「つがる丸」の解体即売会



多くの家族連れが参加。餅つき大会



地場産品を使った惣菜を多数販売



農業機械の展示コーナー



つがるブレンドカレーも人気



出来たての料理を楽しむ来場者

市の「つがるブランド」「食」産業」が一堂に会する「食と産業まつり」が11月17日、18日、木造体育センターを主会場に開催され、大勢の来場者が地元の味覚を楽しみました。

会場には約30の販売・展示ブースが設置され、市内の農産物加工団体や企業などが自慢の品を紹介。初日限定のナガイモ・ゴボウ販売では、販売前から買い求める客が行列を作り、にんにく塩麹を使った料理などを味わえる「食べくらべ屋台村」も人気を集めていました。

2日目は、餅つき大会やつきたての餅500食の振る舞い、野菜宝船の解体即売会などが盛況。両日を通じて各種ステージイベントを盛り上げ、会場は活気あふれる声で包まれていました。

高品質農産物生産農家表彰式

高品質なつがるブランド農産物の生産者12人を表彰。福島市長から表彰状と記念品が贈られました。



氏名	作物名	氏名	作物名
工藤 良二	スイカ	工藤 和一	ナガイモ
丸山 竹美	スイカ	松橋 伊邦朗	ゴボウ
吉田 直一	メロン	山ノ内 修斗	ネギ
工藤 勇一	メロン	木村 勝彦	ネギ
柴谷 亮	リンゴ	尾野 重昭	トマト
工藤 豊	コメ	高橋 弘光	トマト